

問 町立病院での受診を

片山元八郎議員



答 各種会合でお願いしている

Q 町民が「おらが病院」として、未来永劫的な存続を望むならば、町立病院で受診すべきと考える。町外病院での受診状況はどうか。
A 町長 4月から6月までの町立病院での受診者は、98%が町民である。県の平成17年調査では、入院は県立病院が約30%、福山市などが約58%。外来患者は町内約55%、福山市などが約



地域医療講演会

Q 私ら7月「地域が支える医療」トップマナーに「地域医療」に参加し、千葉県立東金病院長が

Q 「医師にとって魅力ある町の条件」として、①「お医者さんありがたう」といってくれる住民。②医師をサポートする行政と議員がいる。具体として定期的に、町長が院長室に顔を出し「困ったことはありますか」という事例報告があった。町長の考えはどうか。
A 町長 町立病院になってからは、月に3回程度院長と面談し、意思の疎通を図っている。

Q 小島パイパス事業に一千万円の予算が付いたが、地権者説明会を早く開け。
A 町長 歩道縮小計画の予算なので買収説明は来年となる。
Q 町有財産の所有権移転を急げ。
A 町長 難渋しているが努力

問 政権交代による本町への影響は

小林 貢議員



答 ケーブルテレビ事業は予断を許さない

Q 自・公連立政権が惨敗し、民主党を中心とする連立政権が誕生した。町長の所見は。
A 町長 選挙当時から政権交代があり得ることを想定しており、違和感はない。20年前に小選挙区制度を導入した時点から二大政党制・政権交代を可能にする手段としていたわけで、遅しの感じは否めない。日本の議会制民主主義の向上に向けても意義あ

Q プロジェクトへの影響は。
A 町長 井関開発事業はLPLの解散後、町が直轄でやることとし、国の大型の経済対策補正予算充当が議決済みであり、おおむね影響は回避できるものと思う。ケーブルテレビ事業は地域情報通信基盤整備推進交付金の内示しか受けていないので、過疎債対応としているものの、井

関開発事業より影響があるかなと感じており、予断を許さないのが実態だ。
A 町長 学校再編(三和小学校、22年度建設)は合併に伴う債務を繰り上げ償還し、さらに基金も設けているのでいけると判断している。町立病院経営には医療・福祉・保健の面で一定の配慮があると想定できるので、心配は不要かと思っている。



井関定住団地工事中

問 集落支援員の活動は

藤田晃己議員



答 課題を整理し対応

Q 集落支援員の活動の成果、状況調査、聞き取りでの課題は。
A 町長 現在の状況では、限界集落が増える状況で憂慮している。集落の方たちは個人的には健康問題、心身の不安、交通手段など困っている。集落での活動では、葬式、草刈り、宮掃除などの出夫への対応に苦慮している。班の役員選任の困難性もある。

Q 今後の課題、集約は。
A 町長 全体的に課題の収集整理をしていきたい。集落支援員の活動は必要ではあるが、守りの政策である。限界集落にならないための攻めの政策は。
A 町長 言われるとおりで今後鋭意努力していきたい。



秋の味覚みつたけ

クリック! 集落支援員とは 集落支援員とは、源流の里(特に高齢化率が高く、かつ小規模な集落)が、自ら維持・再生を目指していく取り組みを支援するため、町が委嘱した方々です。集落を巡回しながら集落の課題を調査・整理しながら計画づくり、情報提供などの支援を行います。

問 新政権へのスタンスは

瀬尾征爾議員



答 与党大臣でねじれが解消

Q 地元代議士が野党であつたが、今回の選挙で与党となった。スタンスは。
A 町長 前政権では、今まで野党議員でねじれ現象であつた。この選挙で政権与党となり、大臣就任も内定し今までは違ったスタンスがとれる。
Q 町長は選挙中、「自民党には不安」との認識を示していたが具体的な

内容は。
A 町長 自民党に対しては、小泉改革の総括ができないまま、羅針盤のない航海をしてきた麻生内閣への



政権交代

この議会中に決定し、提示すべきでは。
A 町長 会議中での決定は時の不満があつた。民主党は寄り合い所帯で政策がぶれないか、党内の二重構造で、傀儡政権になるのではとの不安がある。
Q CATV事業の住民説明会が10月から始まる。使用料や工事負担額が明らかにならないと加入の意志が決まらない。
A 町長 班の事情によっては必要に応じて検討し対応したい。

間不足だが、迅速に結論を出したい。
Q 班ごとに説明会を計画しているが、欠席世帯には戸別に説明をし、加入促進をはかるべきだ。
A 町長 班の事情によっては必要に応じて検討し対応したい。